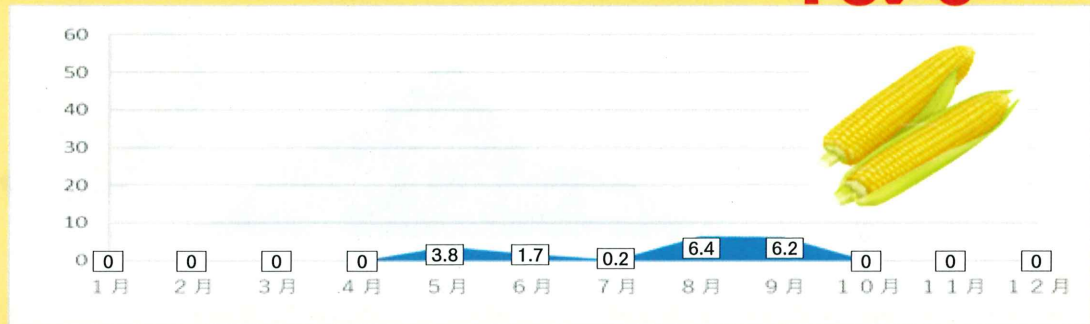


作物別労働時間

とうもろこし

労働時間 (10a 当たり)

18.3 時間

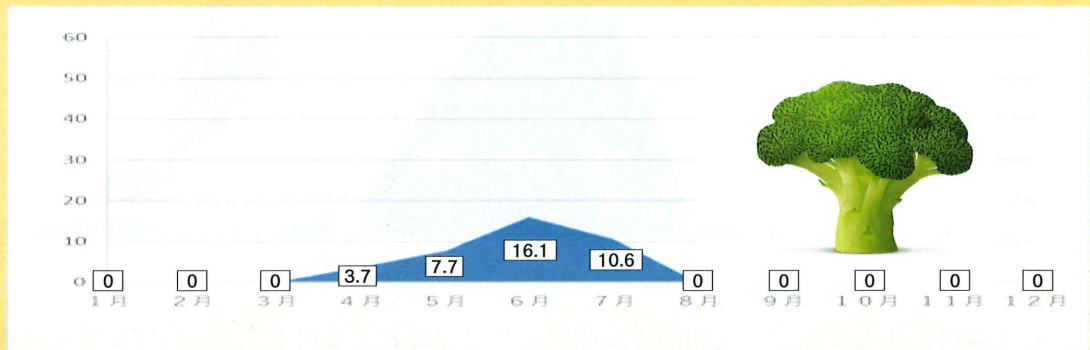


イネ科植物で連作障害になりにくいことから輪作体系に組みやすく、労働時間も少ないことから他の作物と組み合わせやすい作物です。雑草対策が重要になります。

ブロッコリー (春)

労働時間 (10a 当たり)

38.1 時間

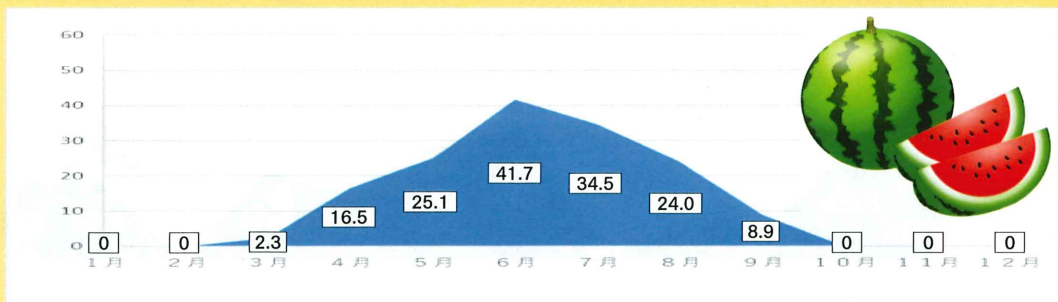


盆前に収入が見込めます。比較的他の作物と組み合わせやすい作物です。

すいか (露地)

労働時間 (10a 当たり)

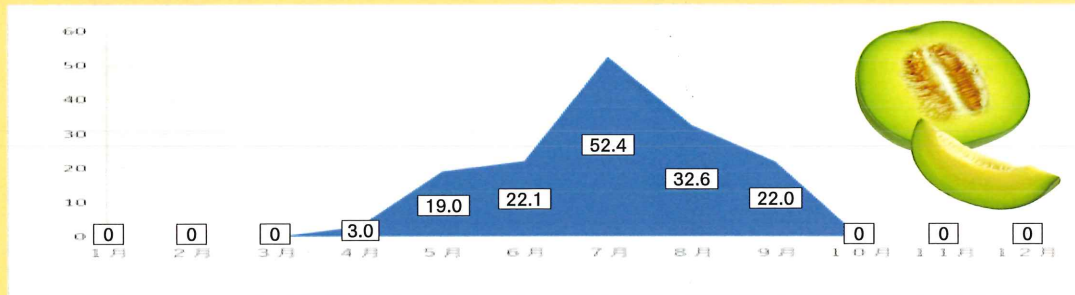
153 時間



作業は5月～8月に集中しますが、盆以降は収穫量も減少し労働時間も少なくなるため、ねぎ(露地)などの組み合わせると労働力が平準化されます。

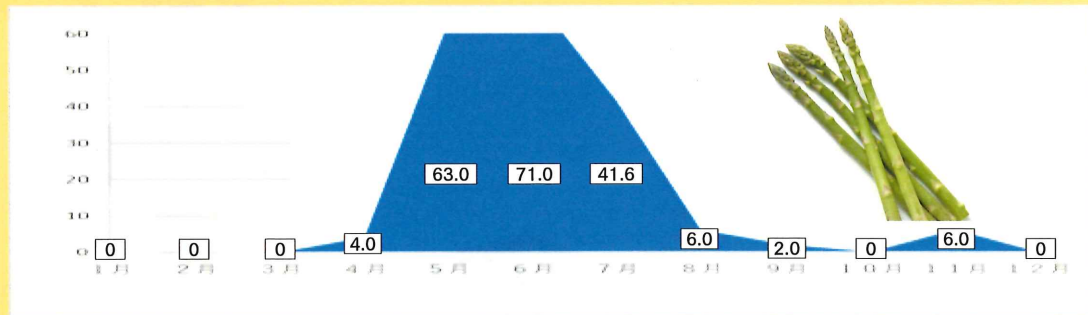
メロン (雨除)

労働時間 (10a 当たり) **151.1** 時間



労働力のピークは6月の整枝作業で、盆以降は収穫量も減少し労働時間も少なくなるため、ねぎ(露地)などと組み合わせると労働力が平準化されます。

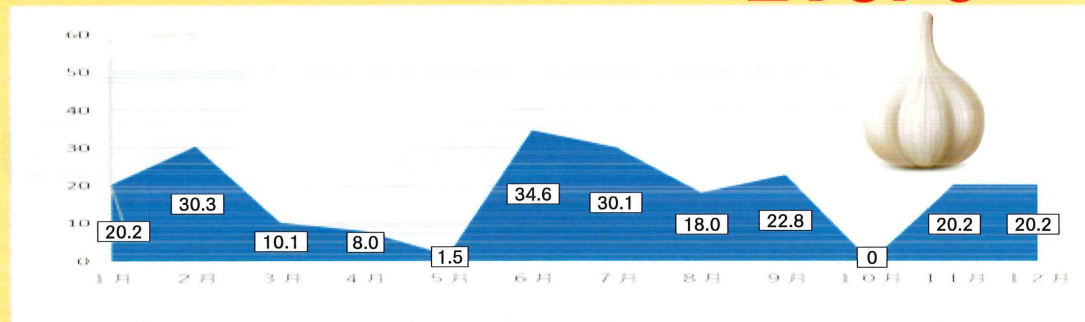
アスパラガス (立茎3年目) 労働時間 (10a 当たり) **193.6** 時間



立茎栽培にすることで収穫期間が長くなり労働力が分散されます。一度定植すると複数年収穫でき、且つ軽量作物であるため、定年退職者などに最適な作物です。

にんにく (露地)

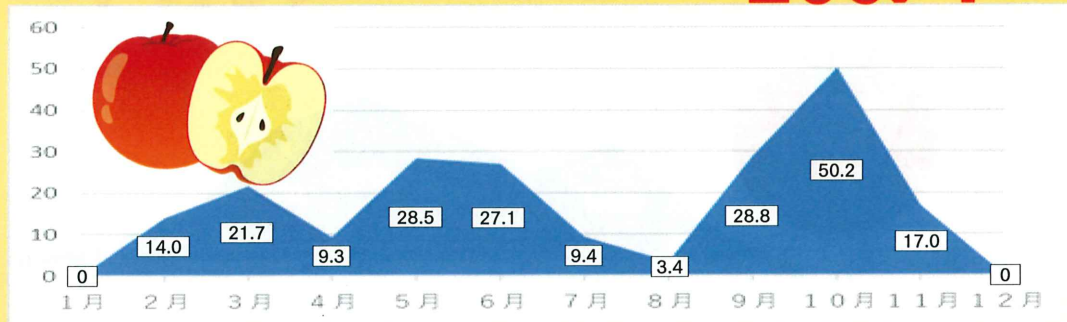
労働時間 (10a 当たり) **216.0** 時間



12月～3月の農閑期に出荷調整作業をすることで、労力分散と冬の収入源になり、水稲と組み合わせることで労働力が平準化されます。

りんご（無袋）

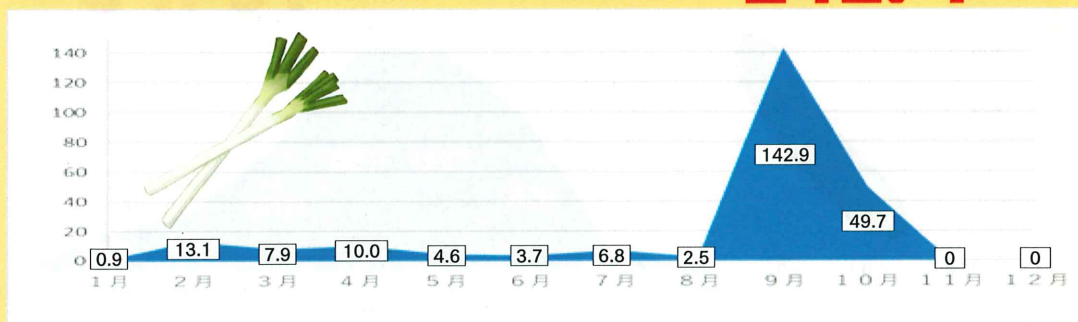
労働時間（10a 当たり）**209.4**時間



6月の実すぐり作業と9月～11月の着色管理・収穫作業に労力が集中します。品種の適正化と、摘果剤・摘葉剤を利用することで労力分散が図れます。

ねぎ（露地）

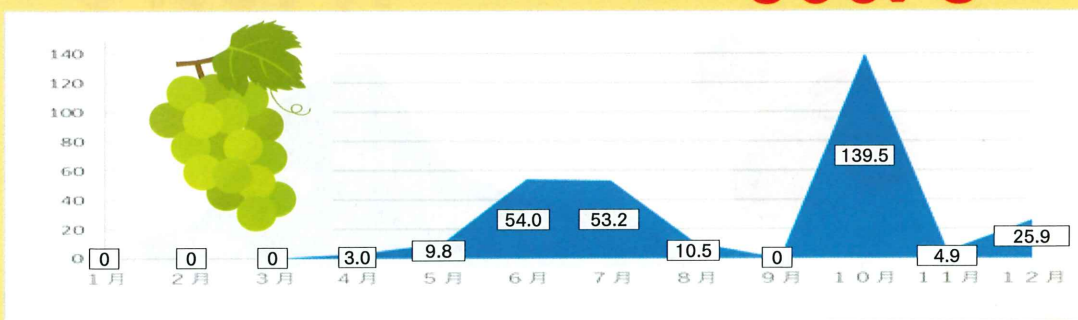
労働時間（10a 当たり）**242.1**時間



9月以降の収穫・出荷調整作業に労力が集中しますが、業務用加工ねぎの取り組みで労力の軽減が可能です。アスパラガス・すいか・メロンと組み合わせやすい作物です。

シャインマスカット

労働時間（10a 当たり）**300.8**時間

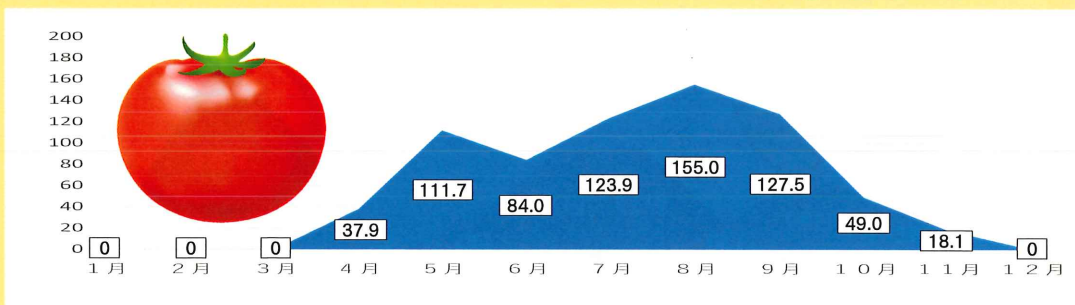


水稲育苗後のハウスを有効活用することで高品質生産に繋がり、稲刈り後に収穫はじめるため水稲との組み合わせで労働力が平準化されます。

このからはグラフ縦軸の時間が異なりますので「注意」下さい。

トマト

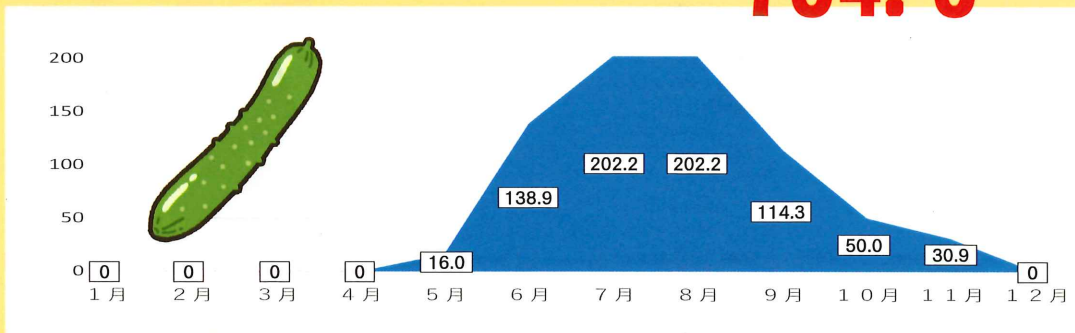
労働時間 (10a 当たり) **707.1** 時間



水稲と組み合わせて育苗ハウスを有効活用し6月に定植することで、トマトの単価が高くなる9月以降の出荷が可能です。

きゅうり

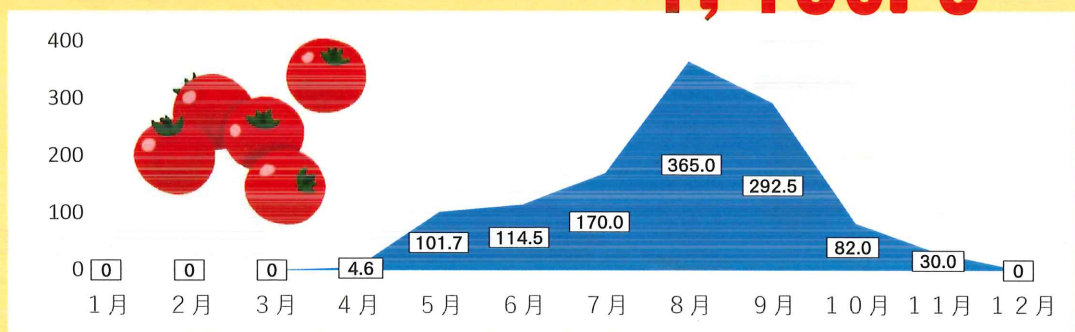
労働時間 (10a 当たり) **754.5** 時間



7～8月に収穫作業が集中しますが、りんごと組み合わせることで労働力が平準化されます。また、共選のため選果作業の労力が大幅に削減できます。

ミニトマト

労働時間 (10a 当たり) **1,160.3** 時間



果実が小さいため収穫に労力集中しますが、大玉トマトと比較し病気に強く単価も安定しています。また、共選のため選果作業の労力が大幅に削減できます。